

しよわとらべる

かわらばん

SHOWA TRAVEL SERVICE

観光庁長官登録旅行業第 1312号

〒500-8703 岐阜市香蘭1-1

tel 058-255-3367 fax 058-255-3368

e-mail: travel@hova-con.co.jp



発行NO. 152 2018.7

今月のトピックス ミャンマー、日本人観光ビザ免除／長崎・天草「潜伏キリシタン」世界遺産登録決定
／長島ジャンボ海水プール6月30日オープン！

☆日本人、ミャンマー観光ビザ免除☆

皆様、こんにちは！7月に入り暑さも本番、ワールドカップもあり今、日本中には熱気が渦巻いておりますが、そこにさらに熱いニュースが飛び込んでまいりました。日本人観光客誘致促進のため日本人に対して観光目的入国者にビザを免除する方針をミャンマー政府は決定致しました。これを受けて同国の旅行会社、宿泊施設、ランドオペレーターなどで構成するミャンマー観光連盟は現地の観光インフラの拡充を積極展開するとともに日本からの観光客誘致に向けた活動を一層強化するそうです。



写真：バガン遺跡

まずは試行期間として1年間実施し、観光客数の増加など観光振興に対する一定の効果が見られた場合は継続してビザ免除を行う方針だそうです。

ちなみにミャンマーの首都はヤンゴンと思われている方…多いのではないのでしょうか？実は現在はネピドーが首都なのです。2006年まではヤンゴンだったのですが、これはあまり知られていないことかもしれませんね。観光で言えば写真のようにバガン遺跡（世界三大仏教の一つ）が有名ですが、他にもミャンマーは見どころがたくさんあります。ミャンマーの自然を満喫できるインレー湖はイギリス植民地時代に避暑地として栄えた街で、周囲は山に囲まれており、遺跡とは一味違う魅力があります。それと仏陀の頭髪が納められているという落ちそうで落ちない不思議な岩ゴールデンロック。

この機会にぜひ、皆様もミャンマーでお出かけください！

☆長崎・天草「潜伏キリシタン」世界遺産登録決定☆



第42回世界遺産委員会は6月30日、長崎県と熊本県にある長崎と天草地方にある「潜伏キリシタン関連遺産」を世界文化遺産の登録を決めたそうです。大変うれしいニュースですが、こちらは江戸時代のキリスト教弾圧の中で信仰を続けた希少な宗教文化が評価されたそうです。

世界遺産の国内での登録は6年連続で22件目で、潜伏キリシタン関連遺産は12の資産で構成されており17から19世紀にわたりひそかに信仰を守った歴史がテーマで「始まり」「形成」「維持・拡大」「変容、終わり」の4期に区分されています。

1637年の島原の乱で武装蜂起したキリシタンらが立てこもった「原城跡」（長崎県南島原市）、漁具や貝殻を祈りの対象に見立てるなど漁業特有の信仰形態が続いた「天草の崎津集落」（熊本県天草市）などが含まれています。幕末に潜伏キリシタンが神父に信仰を告白した「大浦天主堂」（長崎市）は現存する国内最古の教会であり、一見の価値があります。こちらも是非行ってみたいはいかがでしょうか？

☆長島ジャンボ海水プール、6月30日オープン!☆

さて、暑さも本番！どうしても涼しいところを求めてしまいますよね？

ついに待ちに待った長島ジャンボ海水プール、6月30日オープンしたんです！

こちらの見どころは世界最大のスケール75,000㎡の広大な敷地にはキッズから大人まで夏を満喫できるプールやウォータースライダーの豪華ラインナップが勢揃い！



アウトレットも合わせてこちらも是非お出かけ下さい！